

主要地方道黒磯棚倉線昭明橋



とちまるくん
おおたわらとほく ver.

2024

大田原土木事務所ガイド

Otawara Civil Engineering Office Guide



乙女の滝



沼ッ原湿原

管内の位置図

大田原土木事務所管内の市町

大田原市 面積354.36km² 人口 70,125人
 那須塩原市 面積592.74km² 人口113,905人
 那須町 面積372.34km² 人口 23,069人

人口:令和6年3月1日現在
 面積:令和6年1月1日現在



大田原土木事務所案内図



管内の概要

大田原土木事務所の管内は、栃木県の北東部に位置し、大田原市、那須塩原市、那須町の2市1町からなっています。総面積は、約1,319km²で県土の約21%、人口は約21万人で県全体の約11%を占めています。

地形的には、北に那須連山、東は八溝山地、西は高原山、南は喜連川丘陵と四方を山地に囲まれ、中央部は那須連山に源を発する那珂川と白倉山に源を発する箒川に囲まれた広大な那須扇状地帯です。

また、日光国立公園や八溝県立自然公園等に代表される自然環境と、明治の元勳たちによる開拓農場や那須疎水による開拓の歴史及び文化等が調和した地域でもあります。

施設管理の状況として、道路は、国県道合わせて53路線、延長約648kmとなり県が管理する国県道全体の約18%を占めています。河川は、那珂川水系が73河川で延長約592km、久慈川水系が2河川で延長約10km、河川延長については県全体の約24%を占めています。

そのほか、砂防指定地が223箇所で面積約1,354ha、急傾斜地崩壊危険区域指定地が34箇所で面積約30ha、地すべり防止区域指定地が2箇所で面積が約16haあります。

県政の基本指針

- ・「とちぎ未来創造プラン 2021-2025」
- ・「とちぎ創生15(いちご)戦略(第2期)」
- ・「とちぎの未来を築く「県土づくりプラン2021」」

管内のデータ及び栃木県に占める割合



区分	栃木県 (A)	事務所管内 (B)	B/A	調査年月日	
面積	6,408km ²	1,319km ²	20.6%	R6.1.1	
人口	1,889,574人	207,189人	11.0%	R6.3.1	
市町村数	25市町	3市町	12.0%	//	
県管理国道	路線数	12路線	3路線	25.0%	R5.4.1
	延長	696,901m	110,926m	15.9%	//
	舗装率	99.6%	100%	—	//
	改良率	98.8%	99.2%	—	//
県道 (公社管理除く)	路線数	294路線	50路線	17.0%	//
	延長	2,887,052m	537,201m	18.6%	//
	舗装率	96.6%	89.8%	—	//
	改良率	88.4%	86.1%	—	//
県管理国道及び県道延長合計	3,583,953m	648,127m	18.1%	//	
県管理国道及び県道橋梁数	2,810橋	377橋	13.4%	//	
県管理	一級河川数	292河川	75河川	25.7%	R6.4.1
	一級河川延長	2,474.30km	602.08km	24.3%	//
砂防指定地	箇所数	1,597箇所	223箇所(123箇所)	14.0%	R6.3.31
	面積	7,239.09ha	1,354.04ha	18.7%	//
県営住宅数	7,148戸	450戸	6.3%	R6.4.1	
都市計画区域	413,344ha	79,075ha	19.1%	//	
市街化区域	30,165ha	—	—	//	
用途地域	38,874ha	4,170ha	10.7%	//	

大田原土木事務所の執行方針



1 事業執行に関する基本方針

「とちぎ未来創造プラン」及び「県土づくりプラン 2021」の4年目となる令和 6(2024)年度は、建設業の時間外労働の上限規制の適用や物価高騰等の急激な社会経済情勢の変化にも柔軟に対応できるよう、ICT技術を活用してプランに掲げた各施策をより積極的に推進し、インフラの整備、維持、管理を通じて、管内の地域発展に努めます。

1 道路事業

- 成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化
 - ・国道400号 西赤田(那須塩原市)
 - ・3・4・1号中中原美原線 城山(大田原市)
 - ・国道400号 新富町(大田原市)
 - ・国道461号 黒羽BP(大田原市)
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり
 - ・西那須野薄葉線 太夫塚(那須塩原市)
 - ・大子那須線 富岡(那須町)
- 快適で円滑な移動を支える道づくり
 - ・大田原氏家線 親園佐久山BP(大田原市)
 - ・西那須野那須線 西遅沢(那須塩原市)
 - ・豊原高久線 高久駅前(那須町)
 - ・大子黒羽線 須賀川鹿島(大田原市)
 - ・西那須野那須線 黒磯那須BP(那須塩原市、那須町)
 - ・矢板那須線 堰場(那須塩原市)
 - ・3・3・3号野崎乙線橋通り野崎(大田原市、那須塩原市)
 - ・黒磯棚倉線 梓(那須町)
- 未来を見据えた持続可能な道路維持管理
 - ・スマートフォンを活用した維持管理体制のDX化
 - ・橋梁の長寿命化対策(全市町)

2 河川・砂防事業

- 調節池、河積断面確保、堤防強化緊急プロジェクトや防災・減災対策の推進
 - ・鹿島川 中央(大田原市)
 - ・熊川 島方(那須塩原市)
 - ・蛇尾川 笹沼(那須塩原市)
 - ・堆積土砂除去 余笹川 外(那須町外)
 - ・砂防堰堤の修繕(那須町、那須塩原市、大田原市)
- 人的被害軽減のためのソフト対策
 - ・浸水定区域図の追加 苦戸川 外(大田原市、那須塩原市、那須町)
 - ・土砂災害警戒危険区域の住民への周知(全市町)

3 魅力的で活力あふれる地域づくり

- 那須高原地域の渋滞対策の推進
 - ・那須高原線 広谷地(那須町)
 - ・那須西郷線 池田(那須町)
- 魅力ある水辺環境を創出する多自然川づくりの推進
 - ・鹿島川 中央(大田原市)

2 執務に関する基本方針

1 挑戦

社会情勢の潮流を先読みし、積極的に新たな取り組みや施策に挑戦します。

2 連携・協働

管内市町や関係機関等との連携により、挑戦を成果に結びつけます。

3 県民目線

様々な課題や県民ニーズに対し、スピード感をもって取り組みます。

4 職員育成

職員の挑戦する気持ちを伸ばすことにより、「チーム大田原」としての組織力を高めます。

5 健康管理

一人ひとりが健康でのびのびと能力を発揮できるよう、活力のある職場を創出します。

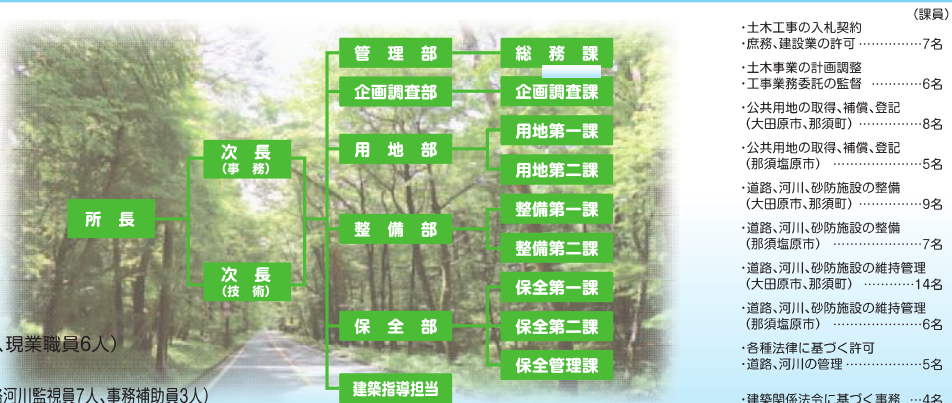
3 働き方改革の推進に関する基本方針

事業の執行、関係機関との関わり方、職員の育成、ライフワークバランスについて、テレワークやDXなどの活用により、さらなる事務事業の効率化を図ることで、働き方改革を一層推進します。



大田原土木事務所の組織図

- 職員数 75人
(事務職員25人、技術職員44人、現業職員6人)
- その他職員 15人
(派遣職員2人、用地事務支援員3人、道路河川監視員7人、事務補助員3人)



道路・河川の維持管理

1 道路 道路を常に安全で快適な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 道路のパトロール
- 損傷した路面や側溝の補修
- 路面清掃 ●法面点検
- 橋梁、トンネル等の点検及び補修工事
- 道路照明灯や案内標識の設置
- 除草、街路樹の剪定
- 道路の除雪



2 河川 河川を常に安全で潤いのある状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 河川のパトロール
- 損傷した河川堤防の補修
- 河川清掃
- 河川構造物（護岸、根固工、床固め等）点検及び補修工事
- 油流入等による異常水質対応
- 雑草の刈り払い



許認可事務

1 道路法

①道路占用許可

道路を使用(占用)する場合には、許可が必要となります。

②道路工事施行承認

道路の法面埋立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取付け道の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

2 河川法

河川区域内において土地を使用(占有)したり制限行為(工作物の設置、盛土、切土等)を行う場合や、河川保全区域内において制限行為を行う場合には、許可が必要となります。

3 砂防法など

次の区域内で制限行為(盛土、切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。

- ①砂防指定地(砂防法)
- ②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- ③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

4 土砂災害防止法

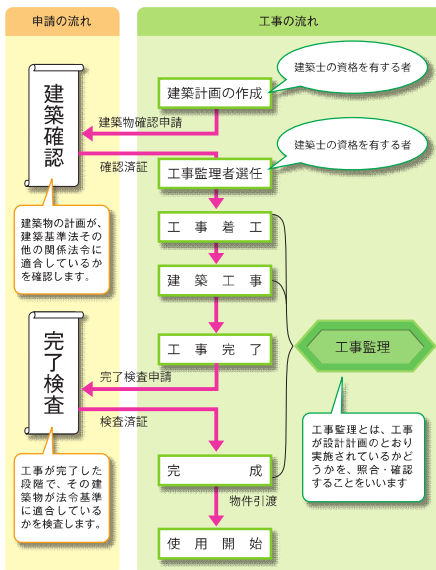
土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。

建築関係事務(矢板市、さくら市、塩谷町、那須町)

※那須塩原市内は那須塩原市、大田原市内は大田原市が所管

●建築確認申請

建物を建てる際には、建築基準法により建築確認申請が必要となります。



●建設リサイクル法

対象建設工事を行う場合には、工事に着手する日の7日前までに届出をすることが必要です。また、特定建設資材を現場で分別することが義務付けられています。

右表規模以上の工事について、分別解体等及び再資源化等が義務付けられています。	特定建設工事の種類	規模の基準	届出先
	建築物の解体	80㎡	建築指導担当
	建築物の新築・増設	500㎡	
	建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	1億円以上	
	建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等)	500万円以上	

※公共工事については発注事項「通知書」の提出が必要となります。(届出先: 所轄土木事務所企画課)

●特殊建築物等の定期報告制度

特殊建築物等の所有者(所有者と管理者が異なる場合は管理者)は、定期に一級建築士又は二級建築士若しくは資格者証の交付を受けた調査員(検査員)によりその建築物等を調査(検査)し、その結果について報告が必要です。

●長期優良住宅

長期優良住宅の認定は、土木事務所の窓口へ直接申請してください。

●栃木県景観条例

■大規模行為届出

次のような行為を行う場合には、栃木県景観条例に基づく届出が必要です。

- ・一定基準を超える高さや建築面積の建築物
- ・一定基準を超える高さや築造面積の工作物
- ・一定基準を超える面積の開発行為

※塩谷町のみ

(矢板市、さくら市、那須町は各市町の定めた景観条例が適用になります。)

●建築台帳等記載事項証明書

確認済証または検査済証を紛失し、各種手続に添付書類として必要な場合に、土木事務所保存の台帳に記載されている事項の証明書を発行しています。(例: 不動産売買のため、建物表示登記のため、金融機関提出書類等)

※発行には手数料が必要となります。



令和6年度の主要事業

大田原土木事務所管内図

1 主要地方道 大田原氏家線 親園佐久山バイパス

- 大田原市親園～佐久山
- 快速で安全な道づくり事業費(交付金)
- 全体計画 L=2,200m、W=11.75m
- C=約30億円
- 事業期間 平成21年度～

県北部地域の道路ネットワークの強化を図るとともに、自動車・自転車・歩行者の安全で円滑な交通を確保するため、荒川を渡河するバイパス整備を実施しています。



10 都市計画道路 3・3・3号野崎こ線橋通り

- 大田原市野崎～那須塩原市一区町
- 街路づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=940m、W=15.0～26.5m
- C=約25億円
- 事業期間 平成30年度～

通勤時の渋滞解消と野崎工業団地の産業支援のため、JR 東北本線をオーバーパスするバイパス整備を実施しています。



12 一級河川 鹿島川

- 大田原市中央
- 安全な川づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=1,000m、調節池2箇所
- C=約20億円
- 事業期間 平成29年度～

洪水による被害を解消するため、一級河川上流部から国道400号に架かる神明橋までの区間において、河川改修と調節池整備を実施しています。



14 蛇尾川

- 那須塩原市笹沼
- 砂防施設づくり事業費(交付金)
- 全体計画 床固工7基、帯工8基
- C=12.9億円
- 事業期間 平成24年度～

現河道に堆積している不安定土砂の移動による河道閉塞や、異常洗掘等による下流域での土砂災害を未然に防止するため、砂防施設の整備を実施しています。



2 主要地方道 大子黒羽線

- 大田原市須賀川鹿島
- 快速で安全な道づくり事業費(交付金)
- 全体計画 L=800m、W=9.50m
- C=約2.5億円
- 事業期間 令和4年度～

茨城県大子町から大田原市黒羽地区までのアクセス向上や、地域間連携・交流の強化や観光活性化を図るため、幅員狭小部の道路改良事業を実施しています。



11 都市計画道路 3・4・1号中田原美原線

- 大田原市城山
- 街路づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=640m、W=15.0m
- C=約20億円
- 事業期間 令和2年度～

快速で安全な道路空間の確保、電線類地中化による防災機能向上、美しい景観の創出を図るため、現道拡幅及び電線類地中化整備を実施しています。



13 一級河川 熊川

- 大田原市荒井～那須塩原市箕輪
- 安全な川づくり事業(補助、交付金)
- 全体計画 L=11,900m
- C=約37億円
- 事業期間 平成19年度～

洪水による被害を解消するため、大田原市内蛇籠川合流点から箕輪橋までの区間において河川改修工事を実施しています。



15 木下沢

- 那須町資沢
- 砂防施設づくり事業(補助)
- 全体計画 砂防堰堤1基
- C=約2億円
- 事業期間 令和2年度～

木下沢下流の人家や緊急輸送道路を土砂災害から未然に防ぐため、砂防堰堤の整備を実施しています。



3 主要地方道 矢板那須線

- 那須塩原市金沢上～下田野
- 快速で安全な道づくり事業費(交付金)
- 全体計画 L=1,000m、W=10.5m
- C=約16億円
- 事業期間 平成26年度～令和6年度

国道4号の補助幹線として県北部地域の物流や通勤、観光周遊ルートを支える道路の狭小区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するため、バイパス整備を実施しています。



4 一般国道400号

- 那須塩原市西赤田
- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画 L=2,500m、W=25.0～30.0m
- C=約46億円
- 事業期間 平成29年度～

重要物流道路として高速道路や工業団地等へのアクセス強化、国道4号西那須野道路との一体的整備による交通ネットワークの強化を図るため、道路拡幅整備を実施しています。



5 主要地方道 西那須野那須線 黒磯那須バイパス

- 那須塩原市北栄町～那須町筒地
- 快速で安全な道づくり事業費(交付金)
- 全体計画 L=2,100m、W=12.0m
- C=約32億円
- 事業期間 平成28年度～

那須塩原市と那須町の連携強化、渋滞の解消及び観光地である那須高原エリアの周遊性向上を目的に、安全で円滑な交通を確保するため、バイパス整備を実施しています。



6 一般県道 豊原高久線

- 那須町寺子～高久甲
- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画 L=2,300m、W=11.00m
- C=約13億円
- 事業期間 令和元年度～

那須町中心部と那須塩原市(旧黒磯市中心部)間の安全で円滑な交通を確保し、連携強化・交流促進を図るため、幅員狭小部および線形曲部の道路改良事業を実施しています。



7 主要地方道 那須西郷線

- 那須町池田
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=700m、W=10.5m
- C=約4億円
- 事業期間 令和4年度～

観光シーズンの渋滞が著しく、交差点を中心に円滑な通行に支障をきたしており、那須高原エリアの周遊性向上を図るため、交差点改良を含めた道路改良事業を実施しています。



8 主要地方道 塩原矢板線

- 那須塩原市塩原
- 土砂災害対策道路事業(補助)
- 全体計画 L=1,000m
- C=約1.2億円
- 事業期間 平成28年度～

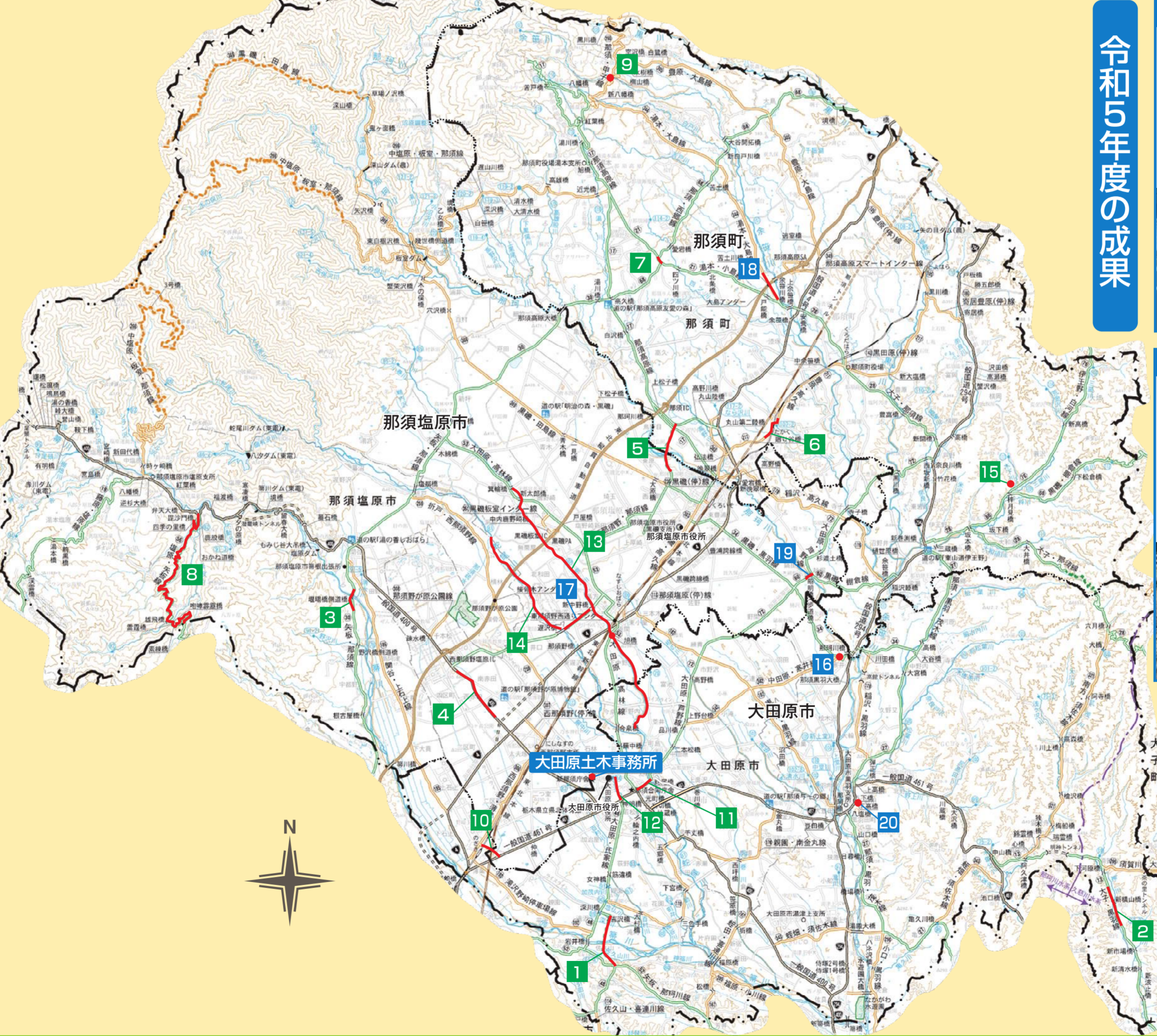
本事業は、道路沿いの落石危険箇所などに対して落石防護柵の設置や崩壊対策工を実施することで、落石等の災害を未然に防ぎ、道路機能の保全と安全性の向上を図るものです。



9 一般県道那須甲子線 撫山橋

- 那須町大島(撫山橋)
- 道路保全事業(補助)
- 全体計画 橋長L=32.7m、W=11.15m
- C=約9億円
- 事業期間 令和5年度～

撫山橋は昭和47～52年(下流側:昭和47年、上流側:昭和52年)に架設され、令和5年度の法定点検で損傷が判明したため、損傷部の橋梁補修工(塗装工、ひび割れ補修工、断面補修工、橋面舗装工、地覆補修工)を実施し橋梁の長寿命化を図るものです。



16 一般県道中田原寒井線

- 大田原市寒井
- 快速で安全な道づくり事業費(県単)
- 全体計画 L=85m
- C=約0.6億円
- 事業期間 令和2年度～令和5年度

本工区は、車道幅員が狭く、一部横断歩道での待機スペースがない状況でした。そのため、道路拡幅及び交差点改良を行い、令和5年10月に完成し、円滑な交通や安全な歩行者空間の確保を行いました。



17 主要地方道西那須野那須線

- 那須塩原市上中野
- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画 L=1,000m
- C=約5.7億円
- 事業期間 令和2年度～令和5年度

本工区は、県北部地域の物流や通勤ルートとして重要な路線である。そのため、朝夕の渋滞が深刻化しており、地域住民の生活に支障をきたしていた。このたび、4車線化整備が令和6年2月に完成し、渋滞の解消及び安全で円滑な交通の確保が図られました。



18 一般県道 湯本大島線

- 那須町大島
- 快速で安全な道づくり事業費(県単)
- 全体計画 L=1,020m
- C=約5.2億円
- 事業期間 平成24年度～令和5年度

本工区は、学びの森小学校の通学路にもかかわらず、歩道が未整備で道路幅員も狭いことから安全な通行に支障となっていました。このたび、令和6年1月に完成し、安心して安全な通学路の確保が図られました。



19 主要地方道黒磯棚倉線 昭明橋

- 那須塩原市鍋掛(昭明橋)
- 道路保全事業(補助)
- 全体計画 橋長L=115.0m W=8.0m
- C=4.9億円
- 事業期間 令和2年度～令和5年度

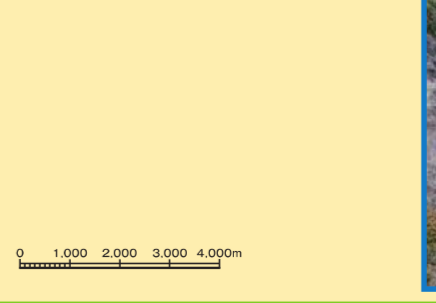
昭明橋は平成元年に架設され、平成29年度の法定点検で損傷が判明したため、令和4～5年度に塗装塗装を実施し橋梁の長寿命化を図りました。



20 田町二号沢

- 大田原市黒羽田町
- 砂防施設づくり事業(補助)
- 全体計画 堰堤工1基
- C=約2億円
- 事業期間 令和元年度～令和5年度

本工区は、土砂災害警戒区域に指定され、下流には人家・公共施設等があります。このたび、土石流による被害軽減のため砂防堰堤の整備を行い、令和6年3月に完成し、保全対象人家等の安全性が確保されました。



令和5年度の成果